


# 木造住宅の耐震改修工法

[名 称] カンタン耐震リフォーム工法「アラテクト」	評価番号	W-032
	評価年付日	H28. 2. 8
[申請者] 株式会社 LIXIL	[他機関での評価] 一般財団法人 日本建築防災協会	
<p>◆ 補強方法の概要</p> <p>床・壁・天井を解体することなく※既存の壁を活かしてカンタンに耐震補強出来るため、仮住まいの必要もなく、住みながら手軽に耐震改修工事を行うことができます。</p> <p>※既存の壁が、せっこうボードを柱に直接張ってある大壁が対象です。</p> <p>接合部を補強する場合、壁の一部を解体することがあります。</p> <p>それ以外の場合は既存壁を解体して施工することができます。</p>  <p>◆ 工法の特徴</p> <p>① 既存の壁の上からカンタン施工 厚さ 1mm 以下の軽いアラテクトシートを既存の室内壁の上から座金・ビスで固定するだけのカンタン施工</p> <p>② 住みながら短工期で工事が可能 既存の壁を活かしてカンタンに耐震補強できる工法のため、仮住まいの必要もなく、住みながら短工期で耐震改修を行うことが出来ます。</p> <p>③ アラミド繊維で耐震補強 アラテクトは、高強度繊維「アラミド繊維」に樹脂を含浸させ、厚さ 1mm 以下の薄い板状にしたアラテクトシートを壁の耐震補強材として使用しています。</p> <p>アラミド繊維は、引張強度が鉄の約 7~8 倍で、建築土木分野では橋脚補強、特殊クレーン用ケーブルなどで使用されています。</p> <div data-bbox="204 1742 1407 1904" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>本商品の設計者・施工者は、(株) LIXIL が主催する技術研修の受講が必要です。</p><p>さらに、設計者は(一財)建築防災協会等が主催する「木造住宅の耐震診断と補強方法」の講習を受講する必要があります。</p></div>		
[問い合わせ先] 株式会社 LIXIL お客様相談センター TEL : 0120-126-001 ホームページ : <a href="http://www.lixil.co.jp/lineup/construction_method/aratect/">http://www.lixil.co.jp/lineup/construction_method/aratect/</a>		